

# 令和4年度第2回（第9回） 瑞穂町地域公共交通会議資料

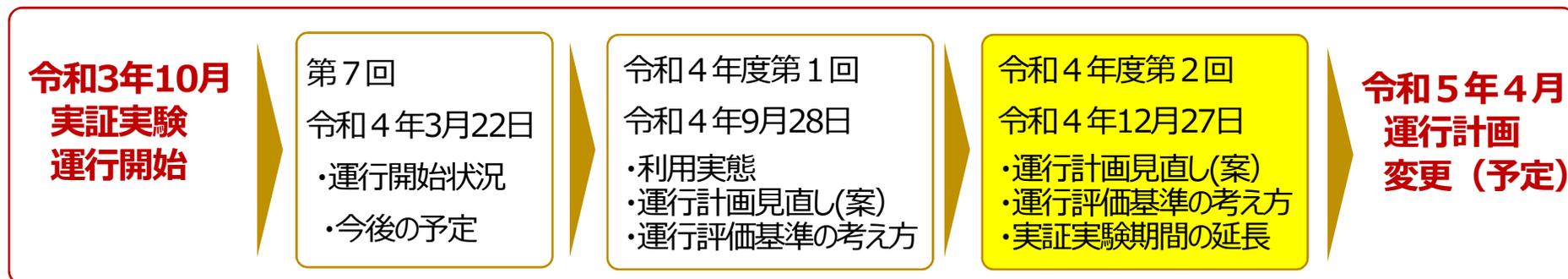


令和4年12月27日（火）  
場所：瑞穂町役場  
4階全員協議会室

## 【これまでの流れ】

- 令和3年10月の実証実験運行開始
- 実証実験運行開始まで、周知活動等を実施
- 実証実験運行後も引き続き周知活動を行いながら、利用状況を把握
- 令和4年9月に実施した第8回会議で運行計画見直し(案)を検討

## 地域公共交通会議のスケジュールと主な議題



継続的な周知活動

利用状況の把握、各種アンケート調査の実施

## 【本日の報告・協議事項】

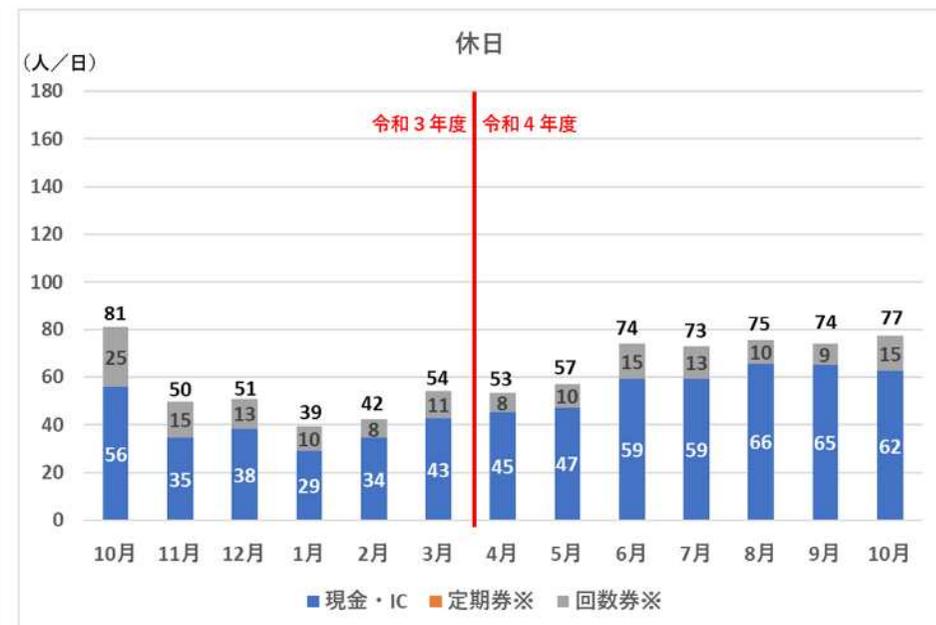
- 利用実績
- 運行計画見直し(案)
- 運行評価基準の考え方
- 実証実験期間の延長

# 1. 利用実績

# 1) 1日当たりの乗車人員

- 定期券や回数券を含むと、1日当たりの乗車人員は平日約165人（10月時点）
- 平日・休日ともに令和4年6月以降は横ばい

## ▼1日あたりの乗車人員（定期券・回数券含む）

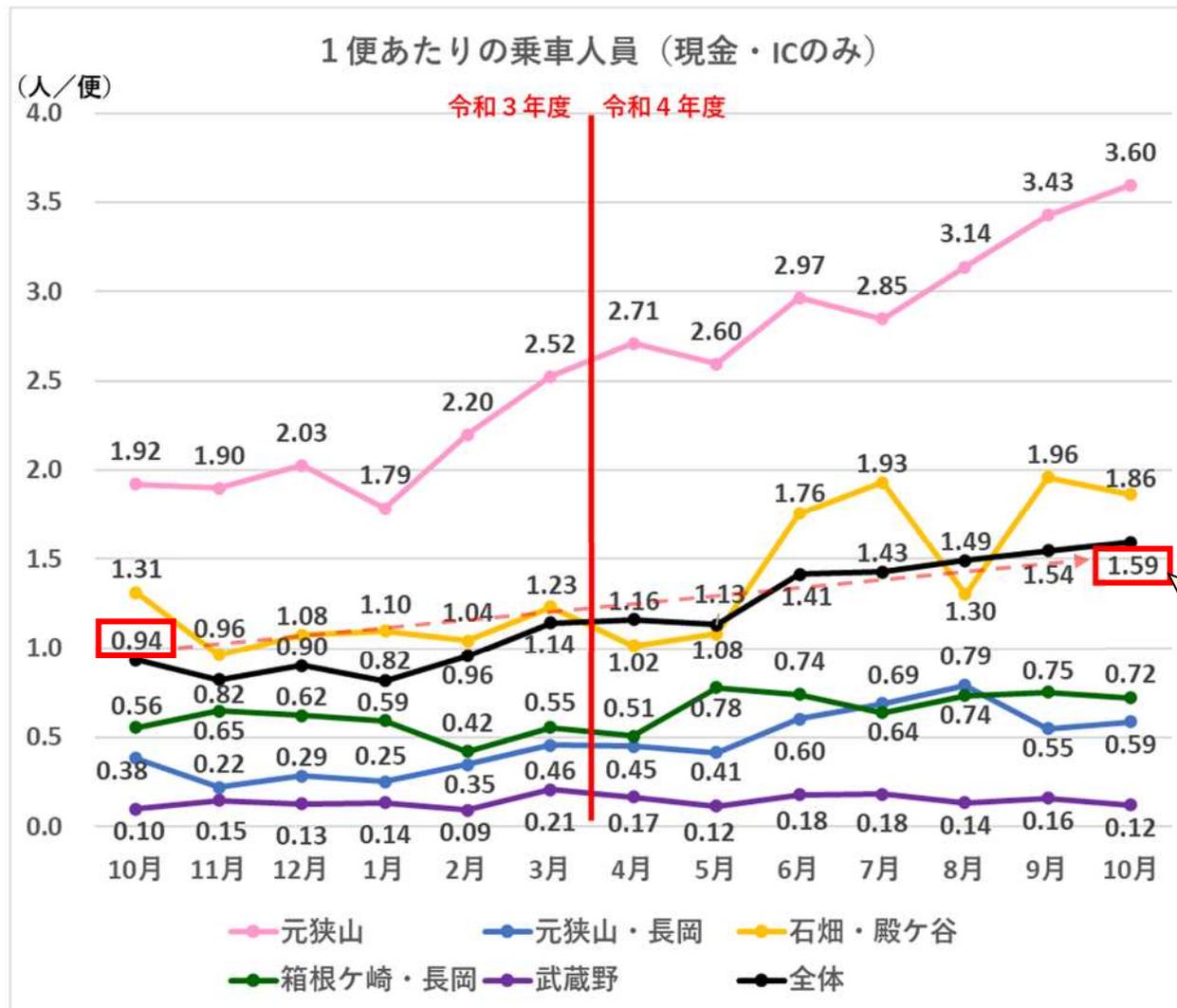


※定期券：購入者が平日を毎日利用すると想定

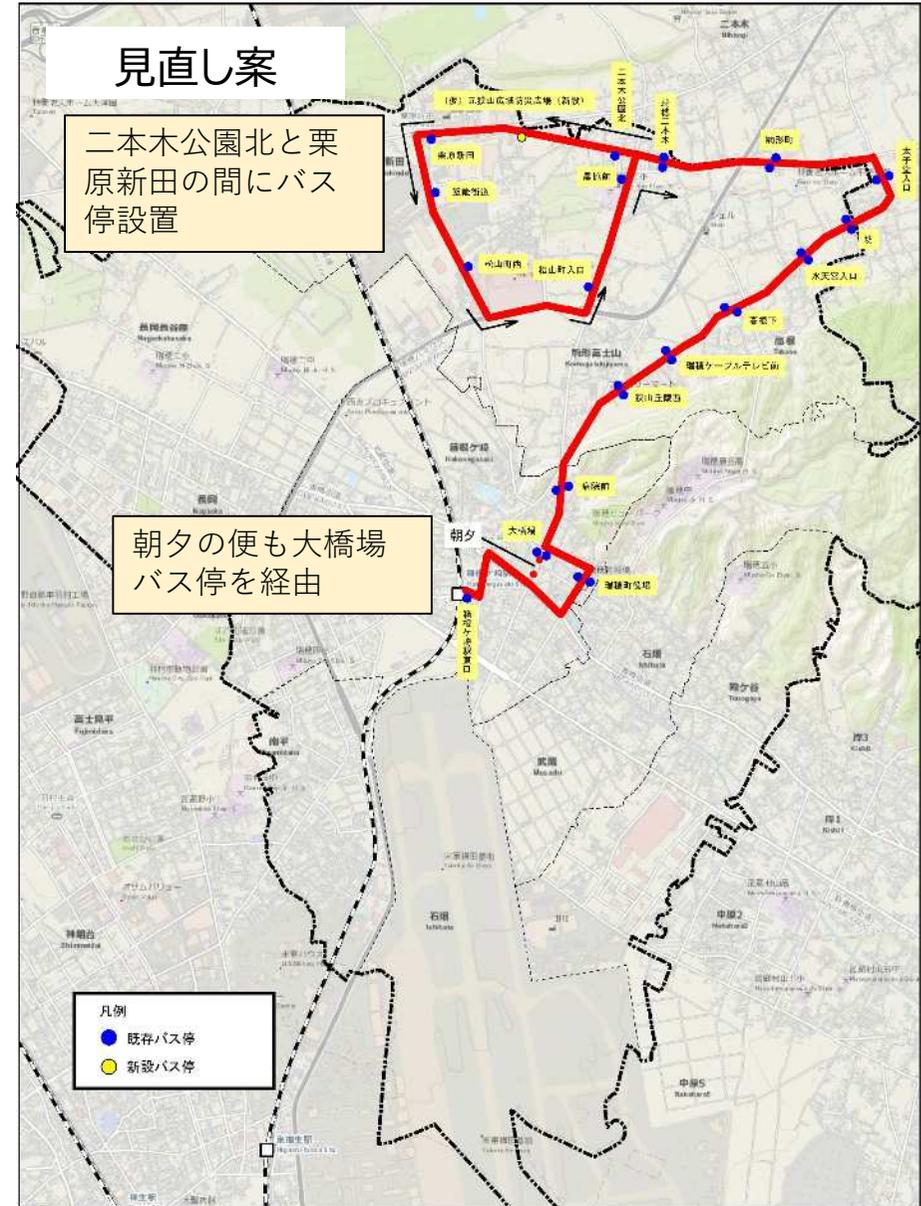
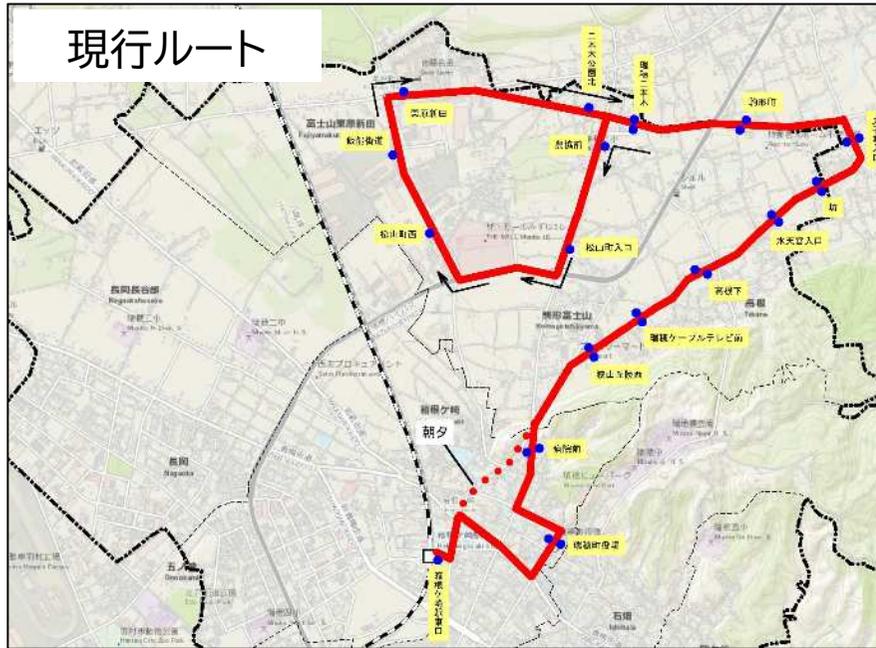
※回数券：回数券合計（販売枚数×11枚刷り）を運行日数で割り、1日当たりの平均を設定

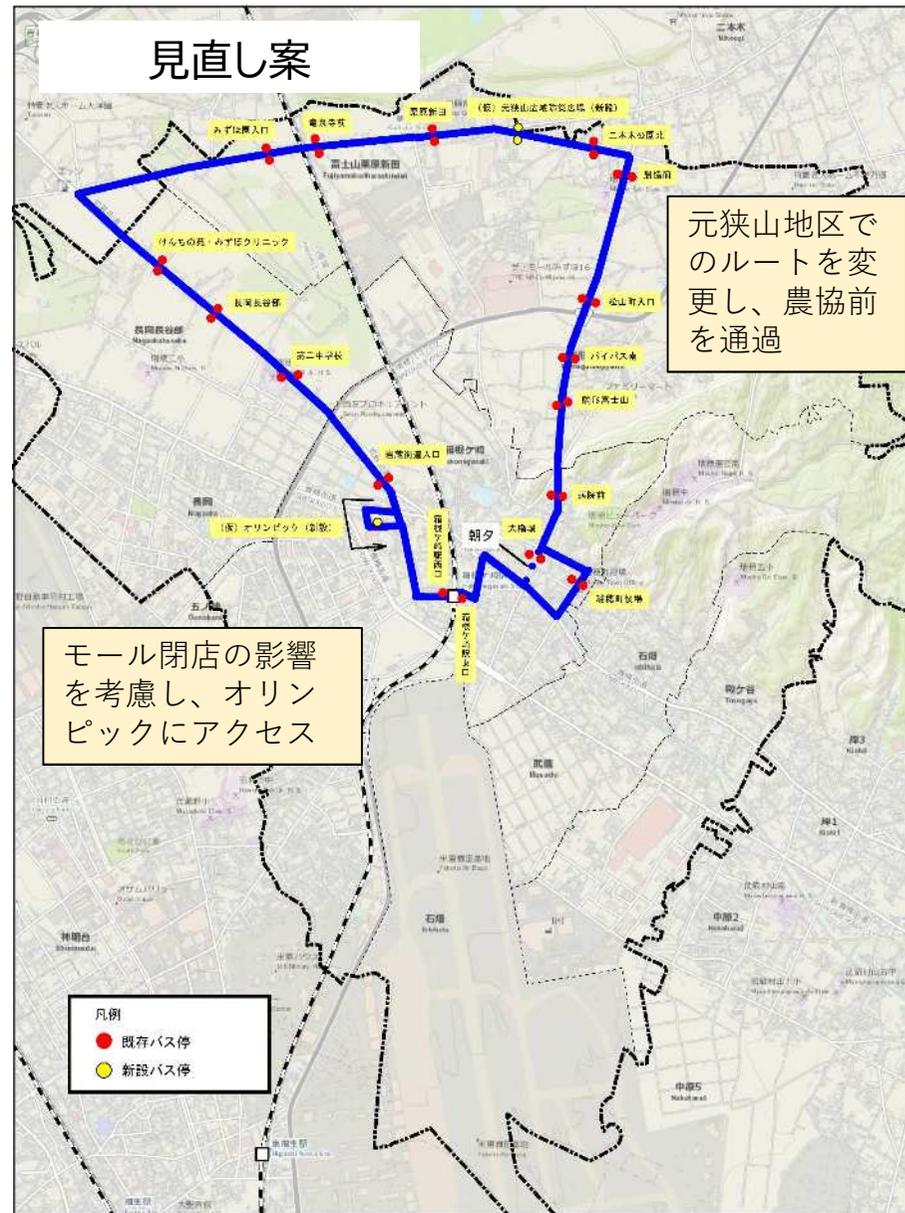
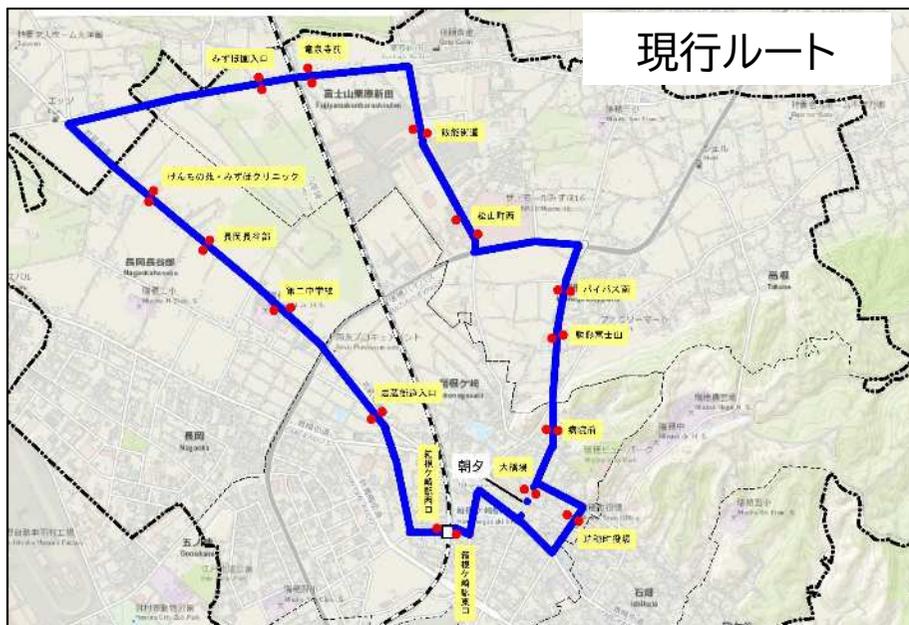
## 2) 路線別の1便あたりの乗車人員

- 1便あたりの乗車人員は元狭山コースが最も多く3.60人/便（10月時点）
- 5路線全体では、令和3年10月⇒令和4年10月で利用者が約1.7倍に

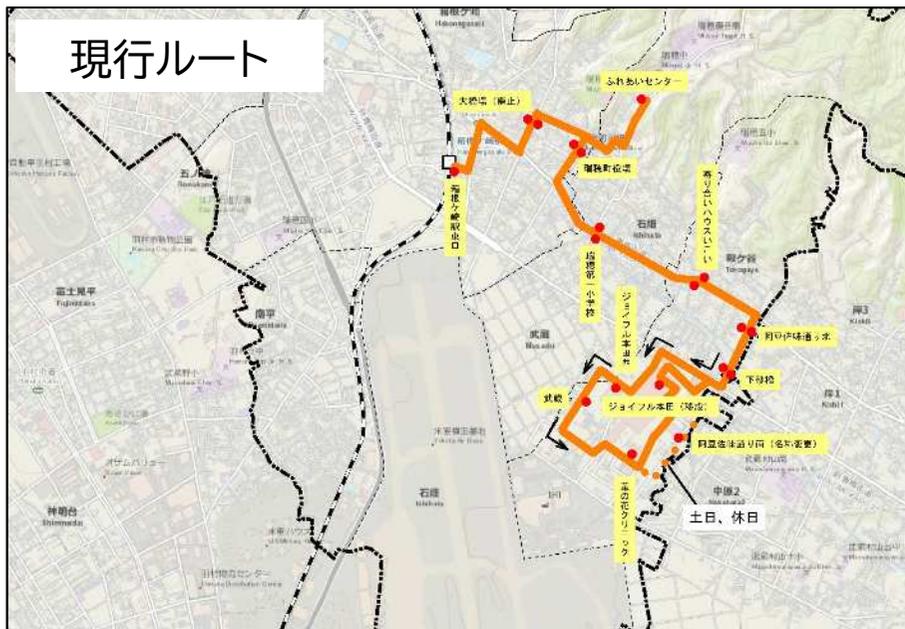


## 2. 運行計画の見直し(案)

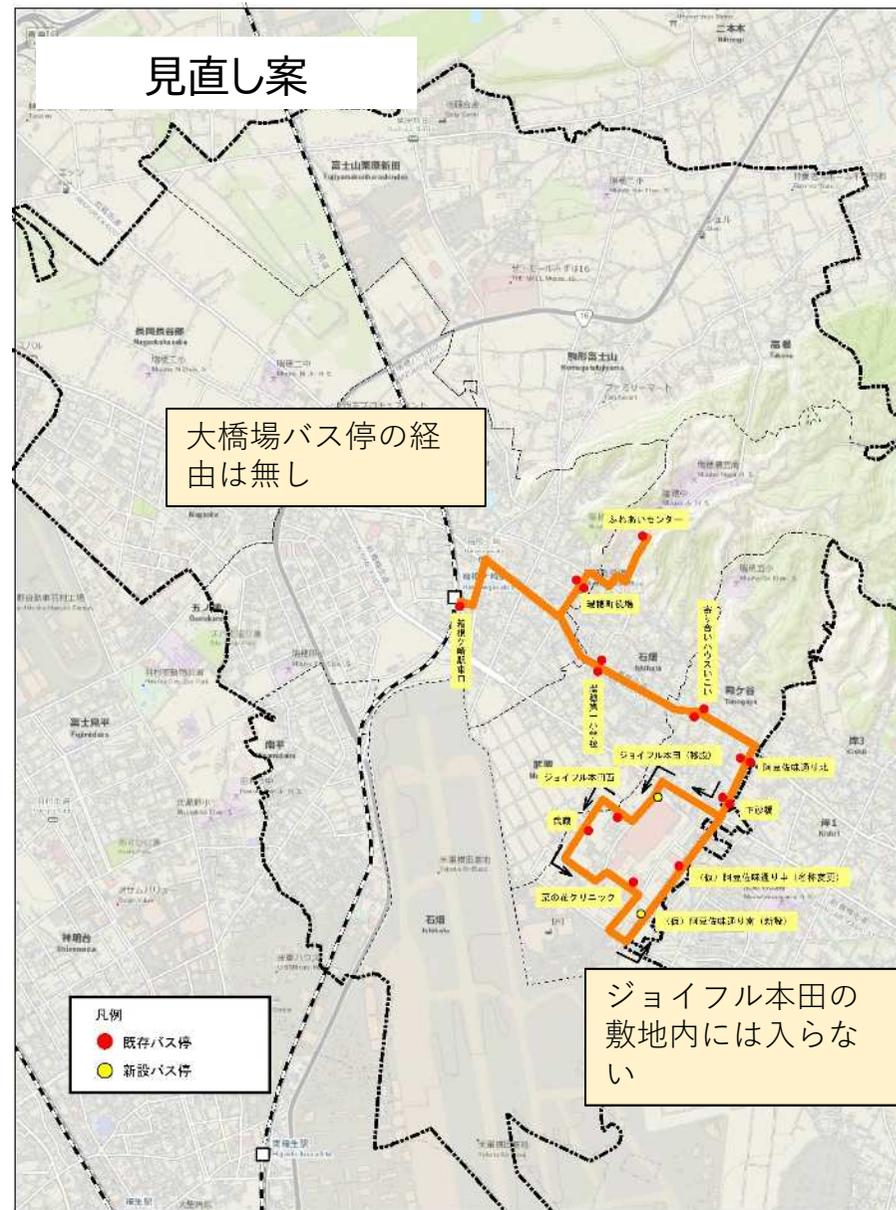




現行ルート

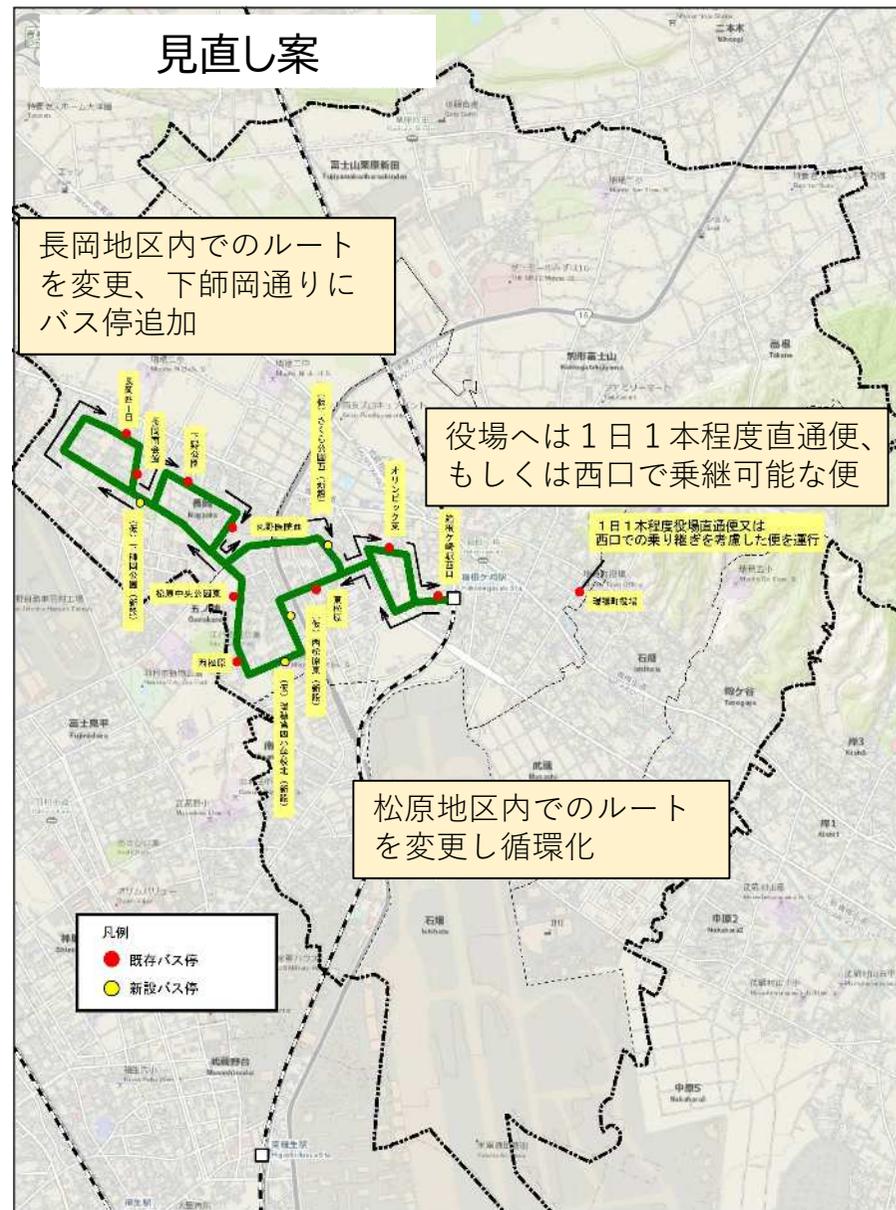


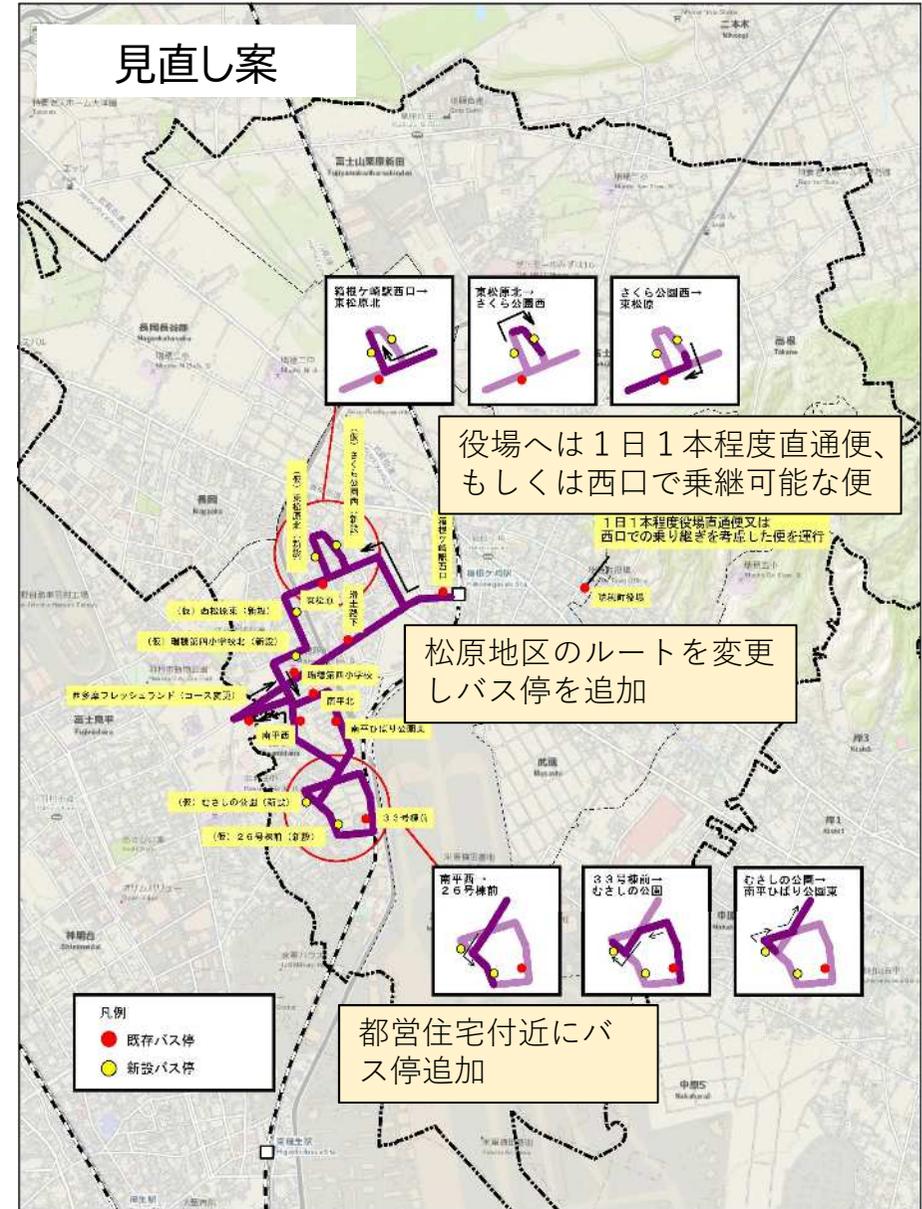
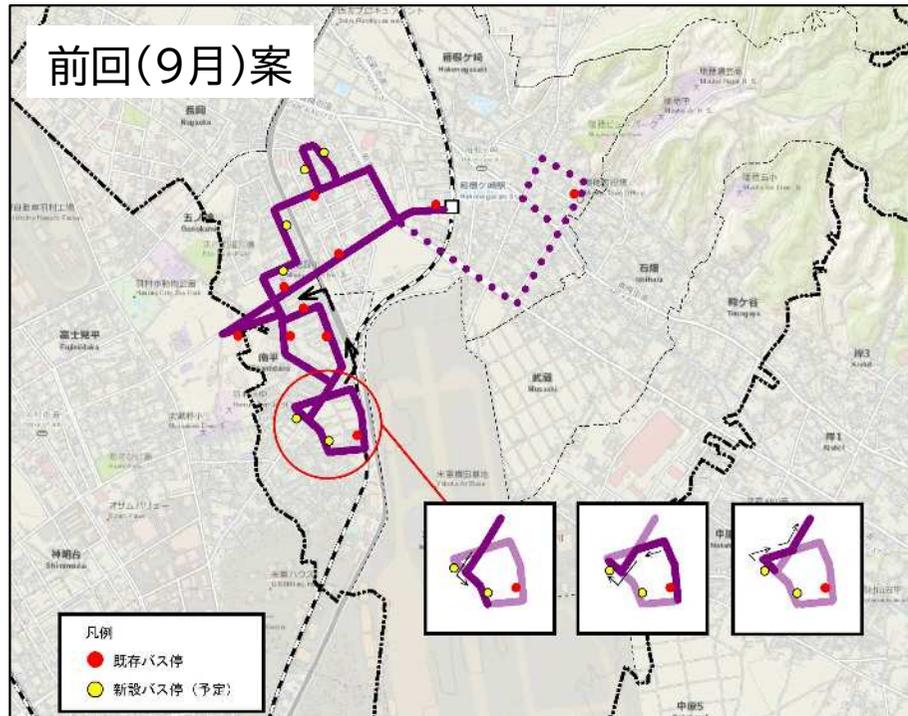
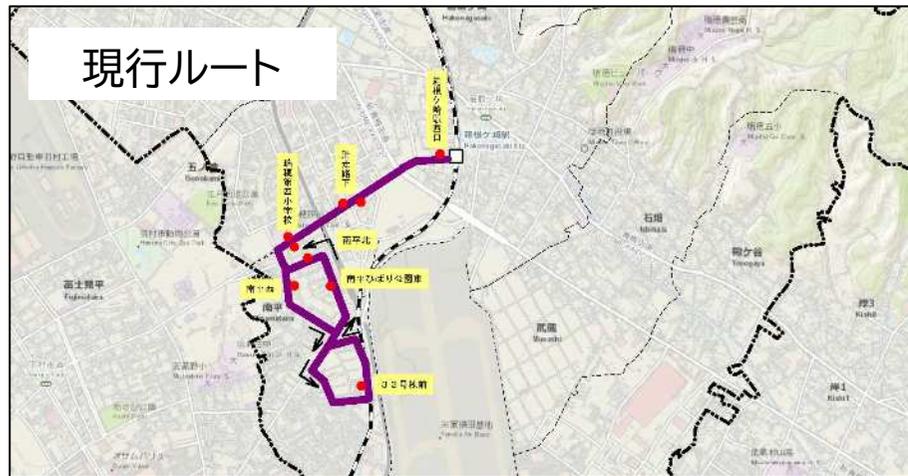
見直し案



前回(9月)案







## 3. 運行評価基準の考え方(案)

# 1) 運行実績（令和4年度上半期概算）

12

- 収支率は5.8%で、昨年度の4.4%から1.4ポイント改善

令和4年4月～令和4年9月（6ヶ月間）

	計
運行経費(百万円)	65.8
運賃収入(百万円)※	3.8
町負担額(百万円)	62.0
収支率(%)	5.8%

※定期券、回数券を含む

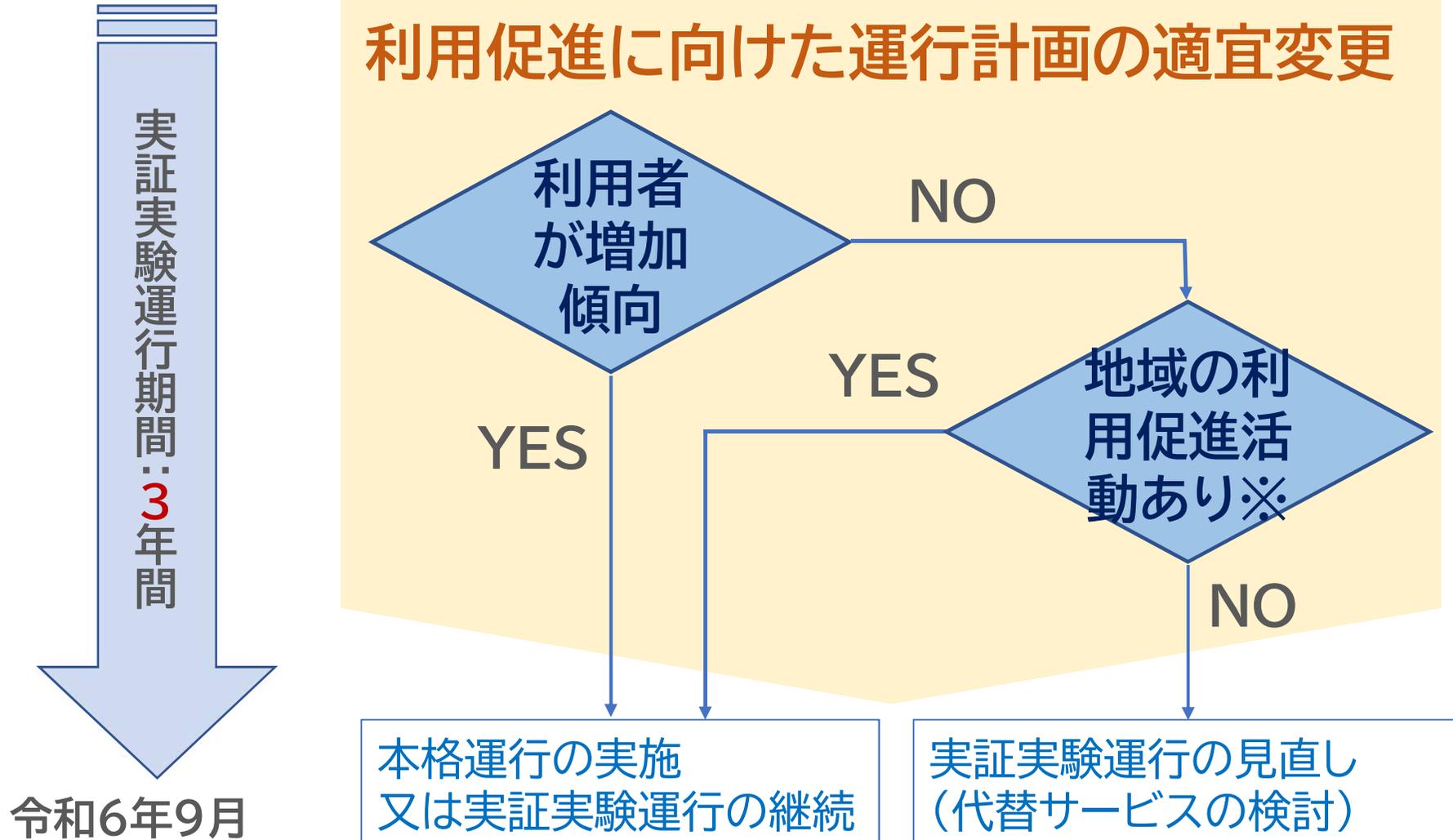
## 2) 運行評価基準の考え方 (案)

13

令和3年10月

実証実験運行開始

### 利用促進に向けた運行計画の適宜変更



※想定例:沿道市民団体による利用促進の提案、回数券の購入、1週間に1回以上乗車

### 3) 利用者の増加傾向の評価基準の考え方

- 評価基準は、「1ヶ月の利用者数、1便当たりの利用者数が増加している」、「全体の1便当たりの平均利用者数よりも多く乗車している」等が想定される

#### 令和3年10月～令和4年10月（1年間）の利用者数

##### ①半期平均の1ヶ月利用者

ルート	半期の平均(人)		変化	評価 (○:増加)
	10月-3月	4月-9月		
元狭山	1,143	1,860	1.63	○
元狭山・長岡	270	565	2.09	○
石畑・殿ヶ谷	245	384	1.56	○
箱根ヶ崎・長岡	75	106	1.41	○
武蔵野	19	24	1.29	○
全体	1,752	2,938	1.68	

##### ②当初と最新の1ヶ月の利用者

ルート	当初と最新(人)		変化	評価 (○:増加)
	R3.11月	R4.10月		
元狭山	1,178	2,296	1.95	○
元狭山・長岡	210	576	2.74	○
石畑・殿ヶ谷	241	479	1.99	○
箱根ヶ崎・長岡	97	112	1.15	○
武蔵野	22	19	0.86	×
全体	1,748	3,482	1.99	

##### ③半期平均の1便当たりの利用者

ルート	半期の平均(人)		変化	評価① (○:増加)	評価② (○:全体よりも高い)
	10月-3月	4月-9月			
元狭山	2.06	2.95	1.43	○	○
元狭山・長岡	0.32	0.58	1.80	○	×
石畑・殿ヶ谷	1.12	1.51	1.34	○	○
箱根ヶ崎・長岡	0.57	0.69	1.22	○	×
武蔵野	0.14	0.16	1.16	○	×
全体	0.93	1.36	1.46		

##### ④当初と最新の1便当たりの利用者

ルート	当初と最新(人)		変化	評価① (○:増加)	評価② (○:全体よりも高い)
	R3.11月	R4.10月			
元狭山	1.92	3.60	1.87	○	○
元狭山・長岡	0.38	0.59	1.53	○	×
石畑・殿ヶ谷	1.31	1.86	1.42	○	○
箱根ヶ崎・長岡	0.56	0.72	1.30	○	×
武蔵野	0.10	0.12	1.23	○	×
全体	0.94	1.59	1.70		

## 4. 実証実験期間の延長

# 1) 実証実験期間の延長

- コロナ禍のまん延防止による生活様式の変化に伴い、全国的に公共交通の利用が減少している中で、他都市と同様に本町のコミュニティバスの利用は低調
- コロナ禍の2年間で「継続」「見直し」を判断するのは時期尚早と考え、実証実験を1年間延期し、令和6年9月までとする

	令和4年度	令和5年度		令和6年度	
	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
実証実験運行	当初実証運行(2年間)		実証運行の延期		本格又は見直し
運行評価	利用状況を踏まえ評価基準を決定		評価		
運行計画の見直し		★ 利用状況から運行形態の変更を含め適宜検討			
利用者アンケート調査		運行計画の変更			
地域住民との意見交換会					
地域公共交通会議	③	①	②	③	① ② ③